

平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	2	日本童画美術館（イルフ童画館）		
指定管理者	名称	(公財) おかや文化振興事業団		指定期間	H28. 4. 1~H33. 3. 31
料金形態	形態	指定管理料		指定管理料	68,536,000 円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施				
施設担当課	ブランド推進室				

1 施設担当課によるモニタリングの実績

○施設訪問

・施設訪問の頻度

▼より選択

月に数回

・施設訪問の際に行った内容

▼より選択

情報交換、意見交換	○
施設管理状況の確認	○
施設の安全点検（危険箇所の把握等）	○
業務指導、改善要求	○

○事業報告書

・報告書の提出を求めている頻度

▼より選択

日報	月報	四半期報告書	年報（事業報告書）
	○		○

●モニタリングの結果

・モニタリングで把握した課題

非常階段に荷物等が置かれていることを確認した。
冬季に氷柱が歩道に落ちてくる危険性を確認した。

・指定管理者に対して業務指導、改善要求を行った内容

非常階段に置いてある荷物等の移動するよう指導。
氷柱が落ちてくる箇所にコーン・バリケードを置いて対応するよう指導。

・業務指導、改善要求への対応状況

▼より選択

内容	チェック
指定管理者は、市の指導・監督に従い、速やかに指摘事項を是正・改善した。	○

2 施設担当課としての評価

○ 実績評価

・ 事業報告書各項目の採点 (70点)

事業計画の項目	指定管理者	市の評価	評価に対する事項
基本方針	5	5	岡谷市の芸術文化の振興と市民福祉の増進に貢献できている。
経費縮減	4	4	展示替え作業等、アルバイトを依頼せず、職員で対応し人件費の削減に努めている。
職員の配置	5	5	適正な人員配置により適正に管理されている。
有資格者等の配置	5	5	防火管理者や学芸員など適正な配置がされている。
職員研修の実施	5	5	研修生の受け入れや、他館の視察や研修を通して個人のスキルを上げる事ができている。
施設の維持管理	5	4	安全管理、清潔に保持、法定点検、定期点検により初期の性能を維持し最良の状態に保つことができている。
住民の平等利用の確保対策	5	5	バリアフリー構造になっており障害のある人にも気持ち良く利用していただけている。
サービス向上対策	5	5	来館者が有意義に過ごせる施設運営ができ、特に子供たちが楽しめる運営ができている。
利用者の要望の把握及びその実現対策	5	5	利用者アンケートやフェイスブックなどの活用し、情報の提供や要望の把握に努めている。
自主事業の実施	4	4	イルフ重画館オリジナル商品の開発や喫茶フムフムでの展示会開催や特別メニューの開発をし多くの入館者を集めた。
地域、他施設との連携	5	5	出前講座や童画館通り商店街でのアートギャラリー一行い童画館通りの活性化に努めた。
施設の運営	5	5	専門知識を有する職員を配置し、迅速適正な運営に努めた。
個人情報保護に向けた取り組み	5	5	個人情報保護要綱、おかや文化振興事業団個人情報保護方針に基づき適正に管理できた。
防犯、防災の対応 その他、緊急時の対応	4	4	開館及び閉館時には職員により巡回し、夜間には警備会社の巡回で防犯に努めた。
合計	67	66	

※各評価に対する事項については、特記すべき点を記載（採点「5」及び「1」については、必ず評価に対する事項を要す）すること。

採点	評価基準
5	管理運営業務が要求水準、事業計画を上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を確保した。
4	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり又はやや上回っており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供を行った。
3	概ね要求水準、事業計画のとりの管理運営を行った。
2	管理運営業務が要求水準、事業計画のとおり行われており、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供が提供されることが見込まれるものの、一部遅滞や不履行がみられ、簡易な改善を要する。
1	管理運営業務が要求水準、事業計画を下回るなど、サービスや施設利用の継続的、安定的な提供に改善が図られず、次年度に早急な改善等を図る必要がある。

・ 出納状況 (4点)

出納状況	はい	いいえ
決算について、各項目の収入額は適正である。	1	
〃、各項目の支出額は適正である。	1	
〃、必要な業務を行わずに余剰金が生じた項目はない。	1	
指定管理経費は、法人本体の経理とは明確に区別して管理された。 複数施設を一括管理している場合、1施設ごとに予算・決算が示された。	1	
合計点	4	

・ 事務事業評価 (10点)

↑増、↓減、→現状維持

▼より選択

施設の利用状況	チェック	採点
施設稼働率	↓	0
年間利用者数、件数	↓	0
1日あたり利用者数、件数	↓	0
施設使用料年間収入額	↓	0
活動一単位あたりコスト	↓	0
合計点		0

有効性評価	高い
-------	----

増	: 2点
維持	: 1点
減	: 0点

・ 評価する事項

・ ワークショップをほぼ毎週開催し、小さな子どもたちから大人の方まで参加していただくための企画に取り組んだ。
 ・ 喫茶ラムラムでは、展覧会に合わせた特別メニューの提供やデザート作りなど食に関するイベントを開催し、多くの方に楽しんでいただいた。
 ・ 市内障害者福祉施設との共同開発によるクッキーや企業との共同開発による透明クレヨン、クロッキーブックを製作し販売を行い、新しいアプローチ方法で武井武雄の名前と作品をアピールした。
 ・ 第9回武居武雄記念日本童画大賞を開催し、フレーベル館(共催)から出版される絵本部門には全国より106点、子ども絵本部門には県内を中心に10点、今回復活したタブロー部門には全国より275点の応募があり、受賞作品展には全国より多くの方が来館された。

・ 改善が必要だと考える事項

なし

・ 事業計画書の提案事項のうち未実施の項目

未実施の項目	なし
未実施の理由	

・ 3つの選定基準による評価 (16点)

▼より選択

3つの選定基準	評価項目	評価	点数
1 平等利用の確保	利用者ニーズへの対応の積極性、苦情処理の充実度	普通	2
	平等利用の確保対策の充実度	高い	2
2 施設の有効利用及び経費の節減	施設利用状況の向上度 (利用者数・件数、使用料収入)	普通	1
	岡谷市のまちづくりに対する貢献度	普通	1
	経営ノウハウの活用度	高い	2
	管理・運営コストの抑制度	普通	1
3 管理の安定性	管理・運営体制の安定度	高い	2
	施設・設備の安全度、安全確保対策の充実度	高い	2
		合計点	13

●総合評価

特に優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	優れた管理運営が行われ、継続した取り組みに期待する	適正な管理運営が行われており、更なる向上が求められる	管理・運営方法の改善が必要である	管理・運営方法の抜本的な改善が必要である
90点以上	89-70点	69-50点	49-30点	29点以下
S	A	B	C	D
	○			

平成29年度 指定管理者の適正管理に関する調査表

↓ コード表からコード番号を入力

施設名	コード	2	日本童画美術館(イルフ童画館)	
指定管理者	名称	(公財)おかや文化振興事業団	指定期間	H28.4.1~H33.3.31
料金形態	形態	指定管理料	指定管理料	68,536,000円
主な業務内容	施設の管理・運営、施設の使用許可、施設使用料の徴収、自主事業の実施			
施設担当課	ブランド推進室			

1 施設の利用状況

*①は貸館施設のみ対象 *②・③はどちらかの欄に記入 *

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	101.7%	
年間開設日数(日)	304	303	298	294
1日の開設時間(時間)	9	9	9	9
年間利用可能時間(時間)	2,736	2,727	2,682	2,646
年間利用実績(時間)	2,736	2,727	2,727	
② 年間利用者数(人)	33,163	36,513	30,983	30,983
有料利用者数	10,687	11,714	5,131	5,131
無料利用者数	18,347	20,217	21,902	21,902
減免措置者数	4,129	4,582	3,950	3,950
③ 年間利用件数(件)	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	109.1	120.5	104.0	105.4
⑤ 施設利用状況の説明				

2 コストの推移

*この事業にかかる費用(人件費は、1人あたり年間800万円で換算)

[単位:円]

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
① 直接事業費	58,404,307	65,698,697	69,385,691	65,150,000
経常経費	55,434,307	64,964,297	68,564,891	65,150,000
臨時的経費	2,970,000	734,400	820,800	0
*臨時的経費の説明	加湿器更新工事			

区分	27年度	28年度	29年度	30年度(予算)
② 人件費	11,600,000	3,200,000	3,200,000	3,200,000
正規職員の人数(人)	1.45	0.40	0.40	0.40
③ 合計コスト(①+②)	70,004,307	68,898,697	72,585,691	68,350,000
前年度比		98.4%	105.4%	94.2%
財源内訳				
一般財源	65,291,889	60,180,409	69,909,928	60,550,000
特定財源	4,712,418	8,718,288	2,675,763	7,800,000
*特定財源の説明	入館料、著作権使用料			
④ 施設使用料年間収入額	4,058,750	5,185,950	2,474,250	7,100,000
⑤ 年間減免措置額	677,700	824,500	689,700	689,700
⑥ 受益者負担割合	8.1%	9.1%	4.6%	12.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト	2,021	1,867	2,316	
前年度比		92.4%	124.1%	
⑧ コストに関する補足説明				

3 大規模修繕の予定

予定事業費	41,750,000	円	予定時期	平成31年度以降
内容	館内空調設備改修工事(2,844万円)・外壁防水塗装工事(1,331万円)			

4 施設の維持管理コスト

1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
役務費	28,891		28,891	建物損害共済費
委託料	68,536,000		68,536,000	指定管理委託料
工事請負費		820,800	820,800	日本童画美術館加湿器更新工事費
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	68,564,891	820,800	69,385,691	

2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.40		0.40
合計	3,200,000	0	3,200,000

人
円

3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
童画館使用料	2,474,250		2,474,250	入館料
著作権使用料	201,513		201,513	著作権使用料
			0	
			0	
			0	
合計	2,675,763	0	2,675,763	

4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	69,089,128	820,800	69,909,928